



# 社会福祉協議会「椎名だより」

## 令和元年度 第2号 (通算23号)



発行者：千葉市社会福祉協議会椎名地区部会  
 編集者：千葉市社会福祉協議会椎名地区部会 広報委員会  
 代表 岡本 博幸 〒266-0021 千葉市緑区刈田子町 28

千葉市社会福祉協議会  
 マスコットキャラクター  
 ハーティちゃん

### 「ヘルスアップ椎名」の開催 健康は生涯の宝・人生百歳の時代を迎えて

社会福祉協議会椎名地区部会 部会長 岡本 博幸

椎名地区住民すべての人が健康で幸せな生活ができることを願って「わくわくヘルスアップ椎名」が9月29日(日曜日)に開催されました。

このイベントは子どもから大人まで幅広い世代の地域住民に對して、運動体験、健康測定、健康講座を通して健康意識や健康維持への関心を高めることが目的で行われました。

当日は231人の方が参加していただきました。その様子を紹介します。※○番号は体験の様子の写真となっています。

①開催の幕開けは生浜中学校吹奏楽部の演奏で始まりました。

②開会式は、永野慎護 健康課課長様から

「ここ椎名小学校で、ヘルスアップ椎名が開催されること大変うれしく思います。健康年齢百歳の時代、皆様が日々健康で幸せに過ごせますよう健康なからだづくりに励んでください」との挨拶があり、続いて。

③石井スポレク会長様、

「ただいまから緑区イベント『わくわくヘルスアップ椎名』を開催いたします」の開会宣言で会がスタートしました。

小山14連協会長様、村上椎名小学校校長先生から「健康維持のため、運動継続の大切さを認識しヘルスアップを通して健康な体を作りましょう」との挨拶があり、全員でラジオ体操を行ったあと、各コーナーで健康体験に入りました。町民の健康への関心は高くそれぞれのコーナーは列をつくって待っていました。

(4ページへつづく)



②



①



③

2019/09/29

## 21世紀は福祉の時代 椎名小学校では福祉体験授業が活発に行われています

### 三年生 「難聴者とのふれあい体験学習」

本田 英作



令和元年10月25日(金)、三年生40名は、難聴者の方及び手話通訳の方、サポーターの方、合計4名と難聴者とのふれあいの勉強会を行いました。不自由な方の日常生活で困っていることを聞き、どんなことが手助けできるか、その方法について学びました。耳の不自由な方からは、災害時などの情報が伝わらないことで避難できず不安だったことが話されました。家の中でもお年寄りで耳の不自由な人や、近所で耳の不自由な方がおられたら、手話ができなくても筆談やジュエスチャー、また口を大きく開けゆっくりと語りかける方法(シアサイン)でも伝えることを学びました。最後に♪さんぽ♪という歌の中に出てくる動物や状況の基礎的な単語の手話を学び、みんなで手話を交えて楽しく歌い合いました。

### 六年生 「シッティングバレーボール体験」

本田 英作



令和元年10月30日(水)、6年生42名は、不幸にして足をなくされた方でも座ったままでできる「シッティングバレーボール」に挑戦しました。全国で活躍されている日本パラバレー協会所属の監督、選手の方々に、体が不自由でも努力すればスポーツを楽しむことの素晴らしさを教えてもらいました。体験コーナーでは、ルールを学び、練習を重ね、紅白試合を行い、点数の取り合いに一喜一憂しながら、肢体不自由の方の苦勞を体験しました。三年生40人も見学で参加し、基礎的な競技の様子を体験しました。2020年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。観戦して力強い応援を送りましょう。また障害者が障害を乗り越えてスポーツに励む姿に対して応援を送りましょう。



## 21世紀は福祉の時代 椎名小学校では福祉体験授業が活発に行われています

四年生 「福祉とはどういうこと」

社協椎名地区部会 出前講座開催

四年一組 本田英作・高梨政子  
四年二組 根本静雄・秋葉欽司

令和元年11月13日(水)、四年生を対象に福祉出前講座を実施いたしました。社協椎名地区部会としては画期的な活動でした。

四年生は副読本が市から全員に配布され、それをもとに福祉について学びました。

社協椎名地区部会は社会福祉協議会の働きを知っていただくことや地域福祉に対して積極的に参加して実践力を高めたいと願っていました。それが実現したのです。

●四年一組 21名 (講師 本田・高梨)

授業では「こんにちは」の挨拶ができれば福祉活動の一步であることを話しました。困っている人がいれば見てみないふりをしないで「助け合い」の心で声をかける勇気を持つ人になってほしいことを話しました。最後まで私の話を聞いていたのがとても印象的でした。全員が作文を書いてくれました。その中の一つです。「福祉のことをあまり考えていなかったけれど、今回の勉強で『いつもつねに考えて、声などを掛けるようになりたい』と、思いました。今の平和な社会を作ったのは、今や75歳以上の後期高齢者となった、おじいちゃんおばあちゃんということを初めて知りました。町などでおじいちゃんやおばあちゃんに『さっさと歩けよとか、何ぐずぐずしているんだ』などはやっぱりいけないと思いました。」

4年1組



4年2組



●四年二組 22名 (講師 根本・秋葉)

初めに、アンケートの結果をもとに社協椎名地区部会の活動について勉強しました。

福祉で最も大切なことは「優しさ」です。身も心も豊かで、みんな仲良く幸せに暮らせる社会を実現するために、ひとりひとりが少しでも誰かの役に立てる機会として社会貢献活動に参加することです。

視覚障害者にとって点字ブロック、音声付き信号機は誘導サインですが、危険と隣り合わせです。障害のある方にとって現実には厳しいものと思います。勉強の中で「困っている人を手助けする」と答えた人は全員でした。

福祉の意味は幸福・幸運の意味があり、人の気持に寄り添い、相手の目や口や身体からも見えない気持ちを見つけ、優しさを差し上げることで役に立つと思います。

子どもたちの積極的な発言、真剣な顔が印象的な授業でした。

④健康測定では「体の測定・血管年齢測定・骨健康度測定」が行われ多くの人が列を作って待っていました。測定の結果を聞き、ほっとした笑顔がこぼれていました。

⑤医師による健康づくりミニ講座Ⅰ ⑥歯科医師による健康づくりのミニ講座Ⅱが開かれ多くの人が参加してくれました。日々の健康づくりがいかに大事かを学びました。

⑦健康運動は「正しい歩き方・腰痛肩こり予防のための運動」を全員で行いました。健康を意識した歩き方。自宅でできる腰痛を和らげる運動を実施しました。基本を学んだ運動でした。

⑧パラスポーツ体験コーナーではポッチャ体験が行われました。障害者理解とパラスポーツの理解・競技への関心を高める活動でした。2020年パラリンピックへの意識を高める競技であり、みなさん熱中して行っていました。

⑨健康体験のまとめは目標を書くことによつて、これからの健康づくりの自己宣言としました。健康宣言には「緑黄野菜をたくさん食べます・毎日30分体操するぞ・塩分控えめ、いい汗かいて楽しく歩く・早寝早起き睡眠十分・食後は歯磨きをしっかりと・45回目の結婚記念日まだまだ元気」

等々、たくさんさんの宣言が書かれていました。キッズコーナーでは子供たちが飛び跳ね、楽しい声が響いていました。

この大会が一過性に終わることにならないよう。「ヘルスアップ事業」が地域密着型、そして継続的に開催されることを期待して、12時30分閉会宣言となり終了いたしました。

